



ひろげよう! まちづくりの輪 ~手と手をつなぐ大家族リレー~



今月号より大家族リレーの輪を広げ、市民予算枠事業(地域内分権推進型)交付金を活用して、各地域のまちづくりに取り組んでいる団体の皆さんを紹介します。

南部まち協 神谷法穂さんからバトンタッチ!

港小学区 おやじの会

◆「港小学区 おやじの会」設立のきっかけを教えてください。

平成13年に、大阪の池田小学校で悲惨な事件がおきて、学校の門が閉じられました。門を閉じれば児童や学校は安全なのか?子どもたちが安心して地域で学び遊べる教育環境を整えるために、数人のおやじたちが集まって設立されました。そこには、保護者や地域の大人がもっと積極的に学校に関わろう、ずっと開かれた港小であってほしいとの思いがありました。

◆どんな活動をされているのですか?

ひとつは、防犯活動です。登下校時や夕方から夜間に防犯パトロールを実施し、学区内の横断歩道に横断旗を設置し管理しています。また、保育園・幼稚園・小中学校の緊急連絡用メールマガジンの管理運営を行っています。

もうひとつは、ふれあい事業です。日曜日に地域の皆さんや親子でふれあえる事業として、地域交流会・盆踊り大会、もちつき・トン汁大会、そば打ち・グラウンドゴルフ大会・ビーズ作り・苅だま作り・パン作り教室などを開催しています。

◆活動をとおして、子どもたちはどのように変わってきたと感じていますか?

世代を越えて地域の皆さんと気軽に接し、イベントや地域活動に積極的に参加しています。その結果、障がいをもった方も含めいろいろな人とコミュニケーションを取れる力が身につき、自分たちで考えて行動できる子が増えたと感じています。

また、お父さんの背中をみて、地域コミュニティの大切さも学んでいると思います。

◆活動されているお父さんたちはどうですか?

お父さんやお母さんも積極的に各事業を支援してくれています。そんな中から交流の輪が広がって、地域コミュニティ創造につながり、地域のつながりを大切に思う方が増えています。いろいろな事業で汗をかきながら自分たちも楽しみ、子どもたちの笑顔でまた、「明日からもガンパロー」ってね!!おまけとして事業やイベントが終わってからの「飲みニケーション」を大切に楽しんでみえる方もいます。(笑)

◆「子どもたちのために、こんなまちにしたい!」、「子どもたちに、こんな風に育ってほしい!」を教えてください。

我々地域の大人・おやじの会メンバーもともに育つ「共育活動」を、無理せず、できることを少しずつ継続していくことによって、港小学区の子どもたちがすくすくと明るく育ってほしい。そして、高浜が好きで、友だちや地域の皆さんと仲よくでき、他人の痛みを感じることでできる子どもたちに育って欲しいと願っています。



▲大好評!「もちつき&トン汁大会」



▲地域の安全パトロール



▲地域ふれあい交流事業

市民予算枠事業って何? ①「市民予算枠事業」とは…

- ❖地域の「どうしよう?」(課題・問題点)を解決し、地域を「こうしたい!」「こうだったらいいな!」(まちづくりに対する想い)を実現するための仕組みです。
- ❖個人市民税の5%の額を「市民予算枠」として設定し、地域の想いを叶えるための事業費としてお渡しする「市民予算枠事業交付金」や「子ども医療費の無料化」に充てています。
- ❖ここでの「市民予算枠事業」とは、地域からの提案を受け交付金を交付する制度です。

